

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0406

(注)本稿は 2017 年 4 月 17 日から 24 日まで 4 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

大きくランク落ちした GCC:MENA(中東・北アフリカ)諸国の世界平和指数(2016 年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その12)

2017.4.17

前田 高行

目次	頁
1. 「The Global Peace Index」について	2
2. MENA 諸国の2016年「世界平和指数」	2
3. 2015年と2016年の比較	3
4. 2011年～2016年の世界順位の推移	4

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第12回のランキングは、NGO グループ Vision of Humanity が The Economist Intelligence Unit (EIU、英国の経済誌エコノミストの一部門)のデータをもとに取りまとめた「The Global Peace Index」から MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* Vision of Humanity のホームページ: <http://visionofhumanity.org/indexes/global-peace-index/>

1. 「The Global Peace Index」について

Global Peace Index は、各国の平和の程度およびそれを維持するための機能を指数化し、ランク付けしたものである。2007年に実施された第1回調査ではその対象は121カ国であったが、その後毎年着実に増え、今回の2016年版では163カ国を対象に調査が行われている。因みに MENA 諸国については19カ国1機関全てが評価付けされている。

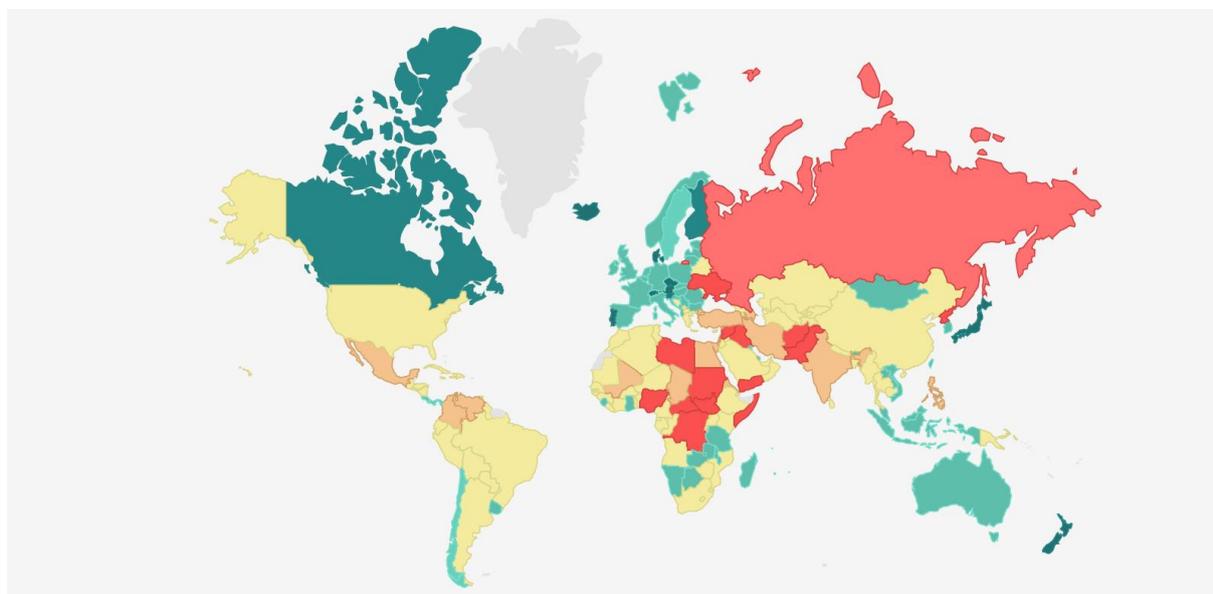
平和指数は EIU 社の国別調査員と外部ネットワークの協力を得て作成されている。指数は小型破壊兵器(銃、小型爆発物など)の入手の容易さ、国防費、汚職、人権に対する尊重の度合いなど24項目をベースにして作成されたものである。

「世界平和指数」の査定結果には以下のような特徴が見られる。

- ・ 平和の度合いは収入、教育制度、地域一体化のレベル等の指標に関連している。
- ・ 平和な国の多くは政府の透明性が高く、汚職が少ない。
- ・ 小さいが安定した国は平和のランクが高い。

(君主制国家が上位を占める MENA !)

2. MENA 諸国の2016年「世界平和指数」(末尾表 12-T01 参照)



(平和の世界地図: 青色 Very high、黄緑 High、黄色 Medium、オレンジ Low、赤 Very low)

MENA 19カ国1機関の中で最も平和度が高いのはカタールであり、世界ランクでも163カ国中の34位であり、MENA 諸国の中では唯一世界50位以内である。因みに世界で最も平和度が高いとされる国はアイスランドであり、日本はデンマーク、オーストリア、ニュージーランド、ポルトガル、チェコ、スイス、カナダに次ぎ世界第9位である。

カタールに次いでMENA第2位はクウェイトで同国の世界ランクは51位、MENA 第3位は UAE(世界61位)である。4位以下はチュニジア(世界64位)、オマーン(同74位)でこれら5か国が世界163か国中の上位グループに入っている。このほか世界100位以内にあるのはモロッコ(91位)およびヨルダン(96位)である。

これらの国の顔ぶれを見るとチュニジア以外は全て君主制国家であることがわかる。これらの君主制国家はいずれも君主(国王または首長)が絶対的な権力を保持している。MENA は絶対君主制国家が命脈を保っている世界的にも珍しい地域であるが、そのような絶対君主制国家の平和度がトルコ、エジプト、イラクなどの共和制国家よりも高いことがMENA 地域の大きな特徴である。因みに同じ君主制国家でもサウジアラビアおよびバハレーンの世界ランクはそれぞれ129位、132位とかなり低い。

MENA8位のアルジェリア以下の国々はいずれも世界100位以下であり、このためMENA の平和度の世界平均ランクは117位と極めて低い水準にある。MENA の大国であるイラン、エジプトおよびトルコはそれぞれ133位、142位、145位である。

世界140位台にはエジプト、トルコの他イスラエル、レバノン、パレスチナ自治政府がひしめいている。イスラエルは経済、社会に関する世界ランクでは常に上位を占め、MENA 諸国の中でも1、2位を争っている¹が、平和度は世界144位と極めて厳しい評価である。さらにイラクは161位、シリアは世界最下位の163位であり「イスラム国」あるいはシーア派過激組織と内戦状態にある両国は世界で最も平和度が低いとされている。

因みに日本は上記の通り世界9位であるが、米国は世界103位とアルジェリアとほぼ同じランクであり、また中国はサウジアラビア(129位)より少し良い世界120位であり、いずれもランクが低い。

なお平和指数ランクでは安全度に応じて Very high(非常に高い)、High(高い)、Medium(中程度)、Low(低い)及び Very low(非常に低い)の5段階に分類されている。日本は Very high であるが、MENA 地域ではカタール及びクウェイトの2か国が High にランク付けされている他は、UAE、サウジアラビアなど7か国は Medium とされている(米国及び中国も同じ範疇である)。そしてイラン、エジプト、イスラエル、トルコ等は Low レベルとされ、リビア、イエメン、イラク、シリアの4か国は最も低い Very low のレベルとされている。

(平和が脅かされる MENA 地域、王制国家が軒並み悪化！)

3. 2015年と2016年の比較 (末尾表 12-T02 参照)

今回と昨年の平和指数、世界ランク及び MENA 各国間のランクの変動を比較してみると、まず MENA の平均指数スコアは昨年の2.336に対して今年2.528であり0.193ポイント改善している。しかし MENA 平均の世界ランクは昨年の108位から今回は117位へ9ランクも落ちている。

指数がアップしたにもかかわらず順位が下がったのは、世界全体の今年の指数の上昇が MENA のペースを上回っており、MENA の平和度が低下したことを示している。

これを国別に見るとMENAのうち世界順位を上げた国はチュニジア、イラン及びイスラエルの3か国にとどまり、その他16か国の世界順位は前年度と同じか又はダウンしている。中でもサウジアラビアは前回の95位から今回は129位と34位も大幅に落ちている。またヨルダン、バハレーンもそれぞれ大きくダウンしている。その他クウェイト(前回33位→今回51位)、UAE(同49位→61位)など MENA 諸国の中では比較的順位が高かった両国も50位以下に落ちている。これらの国々はヨルダン以外はいずれも GCC の君主制国家である。これまで比較的安全で平和と言われたこれら GCC 諸国が大きく揺れ動いていることを暗示しており、今後を注視する必要がある。

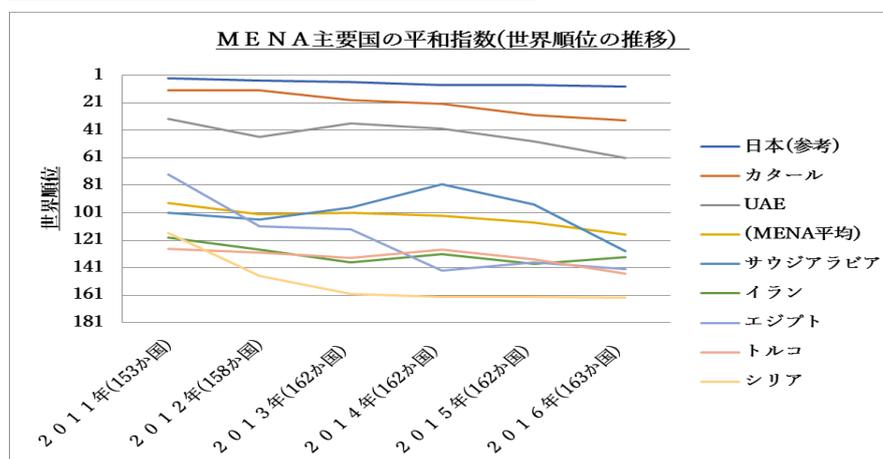
トルコはスコアはアップし(2.363→2.752)安全度が増したと評価されたが、世界順位は135位から145位に下がっている。エジプトもトルコと同様の傾向を示しスコアはアップ、世界ランクはダウンしている。これに対してトルコ、エジプトと並ぶ中東の大国イランはスコア及び世界ランクともにアップしている。3か国の評価が分かれる理由は、トルコ、エジプトでイスラム過激派によるテロ事件が止まらないことに比べ、イランはテロ事件がなく、また経済制裁緩和で国内に平和の機運が高まっていることの表れと考えられる。

「アラブの春」の優等生と言われるチュニジアは MENA の中で世界順位がアップした数少ない国である(76位→64位)。但しスコアはごくわずかながらもダウンしている(-0.003)。このことから今回の平和指数ランキングでは世界の上位国と下位国のスコアがかなり上昇し、チュニジアのような中位国はスコアの下落が大きかったものと見受けられる。

MENA の中で世界ランクが最低クラスの国を見ると、シリアは2年連続で最下位である。イラクも連続して世界161位にとどまっている。また内戦が止まないリビアとイエメンも前回の140台から今回は150位台とさらに順位を下げ、世界で最も安全度が低い国のグループに落ちている。

(94位から117位まで6年連続で下がる MENA の世界平均順位！)

4. 2011年～2016年の世界順位の推移 (末尾表 12-T03 参照)



ここでは MENA 7か国(カタール、UAE、サウジアラビア、イラン、エジプト、トルコ、シリア)と MENA 平均並びに日本について2011年から2016年までの順位の変動を見てみよう。

2011年は「アラブの

春」の騒乱が発生した年であるが、この年の7カ国の世界順位はそれぞれ、カタール12位、UAE33位、エジプト73位、サウジアラビア101位、シリア116位、イラン119位、トルコ127位であり、カタール及び UAE は世界50位以内、トルコが7カ国の中では最もランクが低かった。しかしエジプト及びシリアは2011年以降急速に世界ランクが下落し続け、エジプトの場合は73位(2011年)→111位(2012年)→113位(2013年)→143位(2014年)→137位(2015年)→142位と2012年には世界100位以下になり、その後もランクの下落傾向が止まらず140位前後にとどまっている。またシリアの世界ランクも急激に落ち、2013年以降は4年連続で世界最下位となっている。

地域の大国トルコ及びイランはエジプトほどではないが、トルコは過去6年間では2011年の127位が最も高く今回は140台半ばとなり長期低落傾向が見られる。イランの場合は2013年以降130位台にありほとんど変化がない。但し2015年から2016年にかけては改善の傾向が見られ今後の推移が注目される。

カタールおよび UAE は MENA の優等生であり、特にカタールは2012年まで世界15位以内の高いランクであった。しかし2013年以降両国は徐々に世界順位を下げ、2016年はカタールが世界34位、UAEは世界61位であり、特にUAEの下落が大きい。一方、同じ湾岸の王政国家であるサウジアラビアは2013年から2015年までは世界100位以内に定着していた。しかし2014年の世界80位をピークに2年連続してランクは下落、2016年は再び世界100位以下の129位に落ちている。MENA の世界平均順位は94位(2011年)→102位(2012年)→101位(2013年)→103位(2014年)→108位(2015年)→117位(2016年)と年々低下しており、MENA 地域の平和が脅かされていることを示している。

なお日本の順位の変遷は3位(2011年)→5位(2012年)→6位(2013年)→8位(2014年)→8位(2015年)→9位(2016年)と6年連続でベストテンに入っている。但しわずかながらも長期低落傾向が見られ、今回はベストテンぎりぎりであったことを考慮すると今後の懸念される。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-Mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

世界平和指数ランキング(2016年)

Country	国名	安全度	スコア	世界ランク	MENA ランク
Qatar	カタール	High	1.716	34	1
Kuwait	クウェイト	High	1.842	51	2
UAE	UAE	Medium	1.931	61	3
Tunisia	チュニジア	Medium	1.949	64	4
Oman	オマーン	Medium	2.016	74	5
Morocco	モロッコ	Medium	2.086	91	6
Jordan	ヨルダン	Medium	2.127	96	7
Algeria	アルジェリア	Medium	2.213	108	8
Saudi Arabia	サウジアラビア	Medium	2.338	129	9
Bahrain	バーレーン	Low	2.398	132	10
Iran	イラン	Low	2.411	133	11
Egypt	エジプト	Low	2.574	142	12
Israel	イスラエル	Low	2.656	144	13
Turkey	トルコ	Low	2.752	145	14
Lebanon	レバノン	Low	2.752	146	15
Ppalestine Autonomy	パレスチナ自治政府	Low	2.832	148	16
Libya	リビア	Very low	3.200	154	17
Yemen	イエメン	Very low	3.399	158	18
Iraq	イラク	Very low	3.570	161	19
Syria	シリア	Very low	3.806	163	20
	(MENA 平均)		2.528	117	
	対象国数			163	
(参考)	日本	Very high	1.395	9	
世界1位	アイスランド	Very high	1.192	1	
	米国	Medium	2.154	103	
	中国	Medium	2.288	120	
世界最下位	シリア	Very low	3.806	163	

Source:http://www3.weforum.org/docs/WEF_TTCR_2017_web_0401.pdf

世界平和指数ランキング(2016年 VS 2015年)

国名	2016年			2015年		
	スコア	世界ランク	MENA ランク	スコア	世界ランク	MENA ランク
アルジェリア	2.213	108	8	2.131	104	9
バーレーン	2.398	132	10	2.142	107	10
エジプト	2.574	142	12	2.382	137	12
イラン	2.411	133	11	2.409	138	13
イラク	3.570	161	19	3.444	161	18
イスラエル	2.656	144	13	2.781	148	16
ヨルダン	2.127	96	7	1.944	71	4
クウェイト	1.842	51	2	1.626	33	2
レバノン	2.752	146	15	2.623	145	14
リビア	3.200	154	17	2.819	149	17
モロッコ	2.086	91	6	2.002	86	7
オマーン	2.016	74	5	1.947	74	5
パレスチナ自治政府	2.832	148	16	-	-	-
カタール	1.716	34	1	1.568	30	1
サウジアラビア	2.338	129	9	2.042	95	8
シリア	3.806	163	20	3.645	162	19
チュニジア	1.949	64	4	1.952	76	6
トルコ	2.752	145	14	2.363	135	11
UAE	1.931	61	3	1.805	49	3
イエメン	3.399	158	18	2.751	147	15
(MENA 平均)	2.528	117		2.336	108	

¹ 例えば UNCTAD 「人間開発指数」、WEF 「男女格差」は MENA1 位、世銀 「ビジネス環境」は MENA2 位等。

<http://menarank.maeda1.jp/11-T01.pdf>

<http://menarank.maeda1.jp/8-T01.pdf>

<http://menarank.maeda1.jp/13-T01.pdf>